ユネスコスクール（ASPnet）

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
UNESCO Associated Schools

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：２０１１年４月～２０１２年３月
国　名：　日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やＨＰ上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

１．担当者

―

２．学校概要

学校名　多摩市立青陵中学校

種別　□保育園・幼稚園　□小学校　□小中一貫教育
■中学校　□高等学校　□中等高等学校
□教員養成　□技術/職業教育
□その他（　　）

住所　〒２０６－００１２
東京都多摩市貝取２－９－１

E-mail：

Website：http://www1.ttv.ne.jp/~seiryochu/

児童生徒数：男子 217 名　女子 189 名　合計 406 名
児童・生徒の年齢 13 歳～15 歳

３．実施活動（下記から選択し、ＥＳＤについては活動した分野に○をして下さい。）

□地球規模の問題に対する国連システムの理解
■持続発展教育（ESD）（国際理解）世界遺産　平和・人権（環境）（気候変動）（生物多様性）（エネルギー）防災　食育　伝統文化　そのほか（　　）
□そのほか（　　）

４．活動概要

１年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

本校ではこれまでも生徒の自ら学ぶ力、共に生きる心の育成を目指してきました。1年～3年の総合的な学習の時間を中心に環境教育、国際理解教育などに取り組みました。その集大成として3年生の総合的な学習の時間では、「持続可能な社会を目指して」をテーマに各自がテーマを決め、レポートをまとめ、全員がプレゼンテーションをしました。

さらに、本年度からは ESD の視点を意識しながら新たな教育計画の改革に取り組み始めました。まずは校内研修のテーマを「ESD」として、職員自らが学校周辺のフィールドワークを通じて多摩地域の教材化の可能性を探り、また全国各地の ESD 実践例を学びながら、本校にとっての ESD の在り方を模索しています。次年度以降は、これまでの取り組みをベースとしながら、2050年の大人づくりをテーマに、総合的、包括的な視点で学習計画を再編成していく予定です。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

■　通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
□　時間外活動の時間を使用　　□　ユネスコクラブの活動として実施
□　その他（　　）

今年度の活動結果について（下記から選択して下さい。）

□　大変効果的な活動ができ、大変満足。　■　効果的な活動ができ、満足。
□　効果的な活動ができず、やや不満が残る。

どのように活動を学校のプログラムに盛込んだか記載願います。

総合的な学習の時間を中心に盛り込みました。

今までの活動の中で、教育の質の向上に効果のあった活動がありましたら、記載願います。

ESD に関わるすべての活動は、中長期的な視点で教育の質の向上に寄与すると思います。

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。

□　紙媒体の参考資料（新聞、出版物など）　□　CD-ROM　■　写真
□　その他（　　）

以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ
記載をお願いします。

□　実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。

□　実施テーマに関連した研究旅行の実施。

□　他国の学校との交流や相互協力の実施。（交流した国、学校名の記載もお願いします。特に相手校が ASP ネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。）

□　国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な１０年を記念する取組の実施。（国際母語の日、国際天文年、識字の１０年など）